

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 430

事務事業名	道路里親事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	古場 翼	内線	429

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060302	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり
施策		市民活動の支援と協働の推進
関連施策		

会計	1	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費
事業コード	020300	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			市道利用者、地区住民、ボランティアで活動を希望する人		
意図	対象をどのような状態にしたいか			ボランティアによる市道の環境美化活動を活性化し、大村市の道路環境の更なる改善を図る。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			市民が市道の里親となって行う環境美化活動を、市は清掃用具等の支給や活動保険の加入等で支援する。		
事業期間	平成 13 年度	～	平成 年度	実施方法	その他	
根拠法令、要綱等						
国・県補助事業に係る本市単独施策	無					

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 里親参加を促す広報活動	計画値	3	3	3	3	
		実績値	3	3	1		
	達成度	%	100.0%	100.0%	33.3%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 里親制度による市道管理延長	計画値	26,200	27,400	28,730	28,730	
		実績値	27,165.0	28,165.0	28,435.0		
		達成度	%	103.7%	102.8%	99.0%	
	② 里親人数	計画値	1,200	1,220.0	1,250.0	1,250	
		実績値	1,215	1,243.0	1,195.0		
		達成度	%	101.3%	101.9%	95.6%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	580	624	630	615	697	697	697	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	580	624	630	615	697	697	697	
② 人件費(千円)	1,232	1,222	1,242	1,168	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.16				
時間外勤務(時間)	20	44	92	2				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,812	1,846	1,872	1,783				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	昨年度は、各団体の活動も頻繁に行われており、広報活動等により増員の目標達成に繋がったが、今年度については、減数となったことから再度広報活動等を行い、事業参加の増員を見込みたい。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	夏場に草刈をして頂いている里親がおり、草刈機の燃料提供の要望があったが、現行の制度では直接引き渡しができない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	普段から利用する生活道路を美化活動を行うことはすみやすいまちづくりに繋がるため重要である。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市が管理する道路であり、里親に活動をして頂くだけでなく管理者として協力していくことは重要である。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	参加者が減少してしまったことからさらなる広報の強化が必要である。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	毎年参加団体は増加しており、生活道路をよくする市民の意識向上の要因となっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	参加者のさらなる増員を見越して用具の支給なども多数必要であることから削減は難しい。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	ボランティア活動の最低限の支援を行うにあたり必要であり、見直しの余地はない。						

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	管理する市道はまだ多く存在するため、継続的に事業を行い里親増加を図る。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。